

販促カレンダー＜2月＞ 如月

29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木
				京都北野天満宮梅花祭	群馬上州白久保のお茶講	●天皇誕生日、京都五大力尊仁王会			千葉茂名の里芋祭	雨水	京都居籠祭(17日)	三重伊勢神宮祈年祭(23日)、青森八戸えんぶり(20日)、岡山はだか祭り	日蓮大聖人御誕生会	涅槃会、福井水海の田楽能舞、横手のかまくら(16日)	バレンタインデー、奈良長谷寺だおし		●振替休日、初午、宮城米川水かぶり	●建国記念日、東京徳丸北野神社田遊び、茨城水戸の梅まつり(11日、3月末)	石川竹割り祭り、福島信夫三山晩参り、愛知豊橋鬼祭り(11日)	針供養		和歌山新倉神社御燈祭		立春	節分	二月礼者、三重尾鷲ヤーヤ祭り(5日)		

国際経営株式会社
KOKUSAIKEIEI co.,ltd

石川県能登半島地震の主な寄付先

【石川県】
日本赤十字社石川県支部及び石川県共同募金会と連携し、義援金を受付ける。集められた義援金は、最終的に被災者の方々に直接配分される。

2024年1月1日に発生した石川県能登半島地震。火災の発生や家屋の倒壊など甚大な被害に見舞われた。亡くなられた方々とそのご遺族に対し、謹んで哀悼の意を捧げる。時間の経過とともに記憶から薄れがちだが、被災地の復興は、まさにこれから。息の長い支援が必要であり、離れた地にいながらも、寄付を通して被災地の復興支援を続けたい。

【レスキューストックヤード】
日本各地で災害が発生した際には支援活動を欠かさず行ってきた。過去には2007年に起きた能登半島地震でも石川県穴水町への支援活動を行っており、長きにわたる深

【キャンプファイアー】
災害や紛争に対して支援を募り、現地で活動する団体や義援金として被災地域に届けている。西日本豪雨や熊本豪雨、東日本大震災の復興支援など、これまでに数多くの緊急災害支援金を集め、被災地へと届けてきた。

【メルカリ寄付】
フリマアプリのメルカリは、被災された方々への支援を行う。メルペイ残高を利用して寄付できる。

【Yahoo! 基金】
クレジットカード会社の手数料等(消費税含む)を除き、全て本災害の緊急救援活動、被災地復旧支援として被災者や被災地のために活用される。

【日本財団】
災害復興支援特別基金を設け、被災した方々への緊急支援、家屋の復旧支援、災害NPOの活動支援などを行う。寄付金は、日本財団で間接経費を取ることなく、全額を災害支援のために活用する。

【日本赤十字社】
義援金は、石川県の被災者の生活を支援するため、被災都道府県が設置する義援金配分委員会へ全額が送金される。義援金の募集については、被災都道府県の判断によるものであり、日本赤十字社はその判断に基づき、受付を実施している。

最新の寄付先情報や振込先などは、くれぐれもご自身で確認の上、判断ください。



親や親族の葬儀で

直葬(火葬式)を選ばない人は99%

2023年12月28日
PR TIMES (株式会社 LIVENT)

一都三県で葬儀サービスを行う株式会社LIVENT(東京都)は、コロナ禍で多く知られた「直葬(火葬式)」についての意識調査を行い、「葬儀は低価格より家族の絆を重視して選ぶ」方が多数を占める結果となりました。

がかるもの、手続きが煩雑なものだと捉えられている方が直葬を検討される傾向が強いことがわかります。

認知度が高い直葬ですが、親御様やご親族の葬儀となると、直葬を選ぶのはわずか1・0%でした。もともと高かった葬儀形態は、家族葬で52・3%、次いで一般葬が30・3%、一日葬が10・3%と続きました。

直葬(火葬式)の認知度は、73%と高い水準

通夜や告別式を行わない「直葬」もしくは「火葬式」という葬儀の形態を知っている人は、「詳しく知っている」「ある程度知っている」「ほんの少し知っている」を合わせて72・6%で、まったく知らないと回答した割合は、27・4%でした。「直葬のメリットは？」の回答を見ると、「経済的な負担が軽減される」「準備や手続きがシンプルになる」「ことが直葬のメリットと考える方も多く、お葬式は費用

認知度が高い直葬ですが、親御様やご親族の葬儀となると、直葬を選ぶのはわずか1・0%でした。もともと高かった葬儀形態は、家族葬で52・3%、次いで一般葬が30・3%、一日葬が10・3%と続きました。

直葬を選ばない人の声
●葬儀とは自分のためではなく、残された人が気持ちの折り合いを段階的につけるためにあるものだと理解しており、直葬だとそのプロセスがなくなってしまうように感じるので、自分の葬儀としてそれを望むことはない ●菩提寺(お付き合いしているお寺)がある ●家族、友人、知人に心残りがないように送ってほしい

ご自身の葬儀を考えたときに、直葬を選ぶ可能性が高い人は、15・6%でした。自分以外の人の葬儀は家族葬などしっかりと儀礼を踏まえて行いたいと希望する一方で、自身の葬儀は「簡素で費用を抑えて葬儀を行いたい」と考える方も見られます。

パパさんの帰りを待ち続ける保護猫たち

元野良猫たちと暮らす飼い主夫妻のYou Tubeチャンネル「Hana Channel・保護猫ライフ」にて、亡くなったパパさんの帰りを待ち続ける愛猫たちの動画が、四十九日法要後に公開されました。

2023年10月に、32歳という若さで亡くなったパパさん。これまでママさんとともに保護猫活動を行い、怪我や病気で保護。家族に迎えた猫ちゃんたちと仲良く暮らす姿が多くの視聴者を癒やしてきました。

葬儀前には、パパさんと1番の仲良しだった「エビちゃん」がずっと棺の上にいる姿がみられ、他の猫ちゃんたちもそれぞれパパさんのそばにやってきました。最後のあいさつをする姿が映っています。

ママさんのことを心配するようになつてきたのは「みーちゃん」。保護当時、旅先での出会いだったそうですが、パパさんは保護を即決で承諾してくれたそうで、ママさんは「本当に優しいパパさんでした」と振り返っています。

その後もパパさんのことを探したり、鳴いて呼んだりする猫ちゃんたちの姿が動画に映っています。なかでもエビちゃんは、パパさんが普段仕事をしていた机の上で待ち続ける姿も。いつもここで作業するパパさんを見守っていたそうで、寂しそうなエビちゃんを見ていると胸がしめつけられます。そんな猫たちの姿を見るたび、どうしても涙があふれてしまうママさん。しかし同時に「ママがついているから心配しないでね」と、愛する猫たちへの強い思いもあり、「少しずつですがニャンズと前を向いて、ゆつくりですが歩き始めたいと思います」とコメントしています。



棺の上を離れようとしないうエビちゃん
2023年12月21日 アイティメディア

率先励行 葬儀会館の取組み

独りでは逝かせない…
夫婦2人だけの葬儀店

誰にも看取られず、静かにこの世を去っていく人たちがいる。離婚や家族の死などから、地域や友人とのつながりを失った人たちが。複雑な事情を抱えながら、人生を生き抜いた人たちの最後の砦になるように「孤立死」と向かい、葬儀を営む夫婦がいる。

病院へのお迎えが

「恥ずかしかった…」

費用を抑えるために、葬儀用品や仏具は、夫で経営者の充さんが自ら木を工作して作った。ただ、遺体乗せて車に積む時に使用するストレッチャーはそうはいかない。一般的なものは折り畳み式で遺体をスムーズに車に積むことができるが、2人のもは車輪付きの板に脚立を乗せ、その上に担架を乗せたもの。担架を車に乗せた後、脚立や板を荷台に積み込む。「病院まで亡くなった人を迎えるに行ったとき、病院の職員

にそれを見られるのが恥ずかしかった」と振り返る。

次第が増えていった

「孤立死」の葬儀の依頼

会社を立ち上げて数か月、少人数で行う家族葬の依頼が徐々に入ってくるようになった。充さん手作りの祭壇も温かみがあり、会社を手伝う妻きみ子さんの明るくて丁寧な対応も、静かに故人を送りたい遺族に受け入れられた。ただ、始める前は予想もしなかった家族葬とは違う直送の依頼が増え、今では依頼のほぼ全てを占める。2人がこうした人たちの葬儀を引き受け続ける理由がある。「最期はみんな同じですから。たとえどんな生き方を生きてきても、誰もがいつかは死を迎える。石原さん夫婦は、人生を全うした1人の人間をきちんと送り出したいと話す。

夫婦が必ず最後にかける言葉

礼服に身を包んだ2人は、警察から60代の男性の遺体

を引き取り、軽自動車に乗せた。市内の民家で孤独死となり、引き取り手はいない。もちろん見送りに来る人は誰もいない。家族でも親戚でも知人でもない2人がこの男性の最期の「おくりびと」になる。男性を乗せた軽自動車は火葬場へと向かう。火葬場では、2人も焼香を行う。誰にも見送ってもらえない人だと知ると、火葬場の職員もすすんで焼香をするという。火葬中、2人が必ずかける言葉がある。「本当にお疲れさまでした」。火葬場の煙突から煙が空へとゆっくりと昇っていった。2人は、遺骨を受け取ると、再び深くお辞儀をした。きみ子さんは骨箱をさすりながら穏やかな表情を浮かべる。こうした葬儀を2人は、これまでに1000件以上取り扱ってきた。

遺骨は永代供養の墓がある市内の寺に運び、埋葬される。2人は家族の代わりに亡くなった人を偲び、必ず僧侶にお経を読んでもらうことに

している。「そこまでやった方が、安心する」ときみ子さんは言う。遺骨は骨壺から取り出され、他の遺骨とともに土の中に埋葬される。生前は独りでも、ここではみんなと一緒にいることができる、きみ子さんは明るく話す。「そろそろ年とともにいつまで頑張れるのかなっていうのが正直な気持ちになってきたんですけど、こういう人たちがたくさんいるなかで、最後に私たちがいないと」。

独りで亡くなり、引き取り手がない人を送り出すケースは年々増えている。私たちの社会から少しずつ失われているもの…。それは「人の死を悼む」という当たり前のこともかもしれない。



葬儀店を営む石原さんご夫婦
2023年12月27日 福島中央テレビ

終活川柳

鎌倉新書主催、第一回「終活川柳大賞」の入選作をご紹介。終活をこれからの人生をより良くするものとしてポジティブに、ユーモラスに描いています。

「終活が減らず不安と子の負担」

(ミファ 福岡県 37歳)

終活ってご自身のためだけでなく、ご家族をはじめ、周りの人のためにもなります。終活のメリットを凝縮したまさに一挙両得、一石二鳥感を表しています。

「孫生まれ逝きたい気持ち 生きたいに」

(春蚊秋冬 東京都 51歳)

初孫誕生の喜びがストレートに伝わってきます！お孫さんの成長をしつかり見守るためにも、健康管理や財産の整理など、ますます終活が大切になりますね。

株式会社鎌倉新書
コレカラ終活フェア運営事務局

語り愛

カレンダー

●二月のご命日●

「故人様と同じ日に、
こんな方がお亡くなりになっています…」
そんな一言をきっかけに、
傷心の喪主様へ、さりげないたわりのお声がけを。

一日 (木) 昭和十二年(一九三七年)

河東 碧梧桐(俳人・随筆家)

高浜虚子と共に子規門下の双璧と目された俳人。子規没後は、従来の五七五調の形にとらわれない新傾向俳句を提唱した。

二日 (金) 平成二十一年(二〇〇九年)

山内 一弘(プロ野球選手・監督)

「シュート打ちの名人」と言われ、「大毎ミサイル打線」の中軸を担った強打者。

三日 (土) 明治三十四年(一九〇一年)

福沢 諭吉(教育家・思想家)

明治の代表的な啓蒙思想家であり、慶應義塾大学の創設者。著書『学問のすすめ』は明治初期における最大のベストセラーとなった。

四日 (日) 明治二十七年(一八九四年)

アドルフ・サックス(楽器製作者)

サクソフォーンを発明した、ベルギーの楽器製作者。生涯を通じて楽器製作とパリ音楽院でのサクソフォーン教育に携わった。

五日 (月) 平成十年(一九九八年)

高橋 竹山(津軽三味線奏者)

津軽三味線を全国に広めた第一人者。演歌歌手北島三郎の『風雪ながれ旅』のモデル。

六日 (火) 平成六年(一九九四年)

ジャック・カービー(漫画家)

アメリカン・コミック界の「キング」と称される。代表作は『ファンタスティック・フォー』、『キャプテン・アメリカ』、『Xメン』等。

七日 (水) 明治十八年(一八八五年)

岩崎 弥太郎(実業家)

三菱財閥の創業者で初代総帥。明治の動乱期に政商として巨利を得た最も有名な人物。

八日 (木) 昭和三十二年(一九五七年)

ジョン・フォン・ノイマン(数学者)

現在のコンピュータの基礎を築いた天才数学者。二十世紀科学史における最重要人物の一人。

九日 (金) 平成元年(一九八九年)

手塚 治虫(漫画家・アニメーター)

ストーリー漫画の手法を確立し、日本の漫画表現の基礎を作った「マンガの神様」。代表作は『ブラック・ジャック』等、多数。

十日 (土) 大正十二年(一九二三年)

ヴィルヘルム・レントゲン(物理学者)

「X線」を発見したドイツの物理学者。この功績により、第一回ノーベル物理学賞を受賞した。

十一日 (日) 平成二十年(二〇〇八年)

中村 寅吉(プロゴルファー)

日本で初開催されたカナダカップで団体・個人ともに優勝し、日本の第一次ゴルフブームの礎を築いた日本プロゴルフ界の第一人者。

十二日 (月) 平成八年(一九九六年)

司馬 遼太郎(小説家)

独自の視点から、『竜馬がゆく』や『燃えよ剣』等多くの作品を発表し、その後の歴史小説に大きな影響を与えた。

十三日 (火) 平成二十年(二〇〇八年)

市川 崑(映画監督)

娯楽映画から実験的映画、テレビ時代劇まで幅広く手がけ、常に第一線で映画制作に取り組んだ巨匠。代表作に『犬神家の一族』等。

十四日 (水) 平成二十四年(二〇一二年)

マイク・ベルナルド(キックボクサー)

キックボクシングイベント「K-1」で活躍。「南アフリカの豪腕」の異名をとり、アンディ・フグ等と共にK-1四天王として君臨した。

十五日 (木) 平成十九年(二〇〇七年)

ロバート・アドラー(発明家)

数々の発明で特許を取得。特にテレビ用の無線リモコンの開発で有名。

十六日 (金) 平成二十九年(二〇一七年)

ディック・ブルーナ (絵本作家)

「ミッフィー」の作者。1955年にシリーズの第1作『ちいさなうさちゃん』を発表。日本では1964年に出版された。

十七日 (土) 友引 平成三十二年(二〇一〇年)

藤田 まこと (俳優)

コメディアン、俳優として活躍。『必殺』シリーズや『はぐれ刑事純情派』はアタリ役となり、ロングヒットを記録した。

十八日 (日) 永祿七年(一五六四年)

ミケランジェロ・ブオナローティ (芸術家)

西洋美術史上における最高の美術家の一人とされ、様々な分野で優れた芸術作品を残した「万能人」。代表作は『ダヴィデ像』等。

十九日 (月) 宝永六年(一七〇九年)

徳川 綱吉 (江戸幕府五代将軍)

「生類憐れみの令」等の悪政で有名であるが、学問好きで多くの儒学者を輩出した。

二十日 (火) 昭和八年(一九三三年)

小林 多喜二 (小説家)

日本プロレタリア文学の代表的な作家。近年、代表作『蟹工船』が再評価され、若年層を中心にブームとなった。

二十一日 (水) 昭和十三年(一九三八年)

ジョージ・ヘール (天文学者)

太陽の観測のためのスペクトロヘリオグラフを発明し、太陽の磁場を発見した太陽研究における一大権威。

二十二日 (木) 昭和六十二年(一九八七年)

アンディ・ウオーホル (芸術家)

ポップアートを代表する人物であり、ロックバンドのプロデュースや映画制作なども手掛けたマルチ・アーティスト。

二十三日 (金) 友引 安政二年(一八五五年)

カール・フリードリヒ・ガウス (数学者)

近代数学のほとんどの分野に影響を与えたと考えられている、十九世紀最大の数学者の1人。

二十四日 (土) 昭和九年(一九三四年)

直木 三十五 (小説家)

大正から昭和にかけて活躍した大衆作家。代表作は『南国太平記』等。没後、盟友・菊池寛により「直木賞」が創設される。

二十五日 (日) 昭和二十八年(一九五三年)

斎藤 茂吉 (歌人・精神科医)

アララギ派の中心人物の歌人。精神科医として活躍する傍ら、旺盛な創作活動を行い、生涯で全十七冊の歌集を発表した。

二十六日 (月) 昭和三十三年(一九五八年)

横山 大観 (日本画家)

「朦朧体」と呼ばれる、線描を抑えた独特の没線描法を確立。日本美術院の創設にも参加した、日本画壇の巨匠。

二十七日 (火) 昭和十一年(一九三六年)

イワン・パブロフ (生理学者)

犬を使った実験で「条件反射」を発見。行動主義心理学の古典的条件づけに大きな影響を与えた。

二十八日 (水) 昭和十年(一九三五年)

坪内 逍遙 (小説家・評論家)

文芸評論『小説神髓』を発表し、勧善懲悪が基本だった当時の日本に西洋の近代小説観を広め、近代文学の誕生に大きく寄与した。

二十九日 (木) 友引 昭和七年(一九三二年)

ラモン・カザス (画家)

風刺画、上流階級の人々の肖像画で知られる。また、バルセロナの路上で抗議する人々を抑圧する様子を描いた作品で有名になった。

天然素材のクリオ ネ型骨壺で 海底2000mに 眠る「深海葬」

モンディアル株式会社（東京都）では、富士山の眼下に広がる、日本一水深が深い湾「駿河湾」の海底に、ご遺骨を沈めて埋葬する新しい埋葬サービス「深海葬」を開始いたします。

「深海葬」は、ご遺骨をパウダー状にして天然素材のクリオネ型骨壺「クリオール」に納め、駿河湾の海底2000mに安置する埋葬サービスです。埋葬前にはクルーザー上でセレモニーを執り行い、埋葬した場所を特定する「深海埋葬証明書」を発行します。「Google Earth」を使用したこの位置情報にはオリジナルの墓標が示され、PCやスマートフォンからいつでもお墓参りができるようになり

ます。オリジナルの墓標には、同サービス開始時点では故人の写真が現れますが、来春には故人の

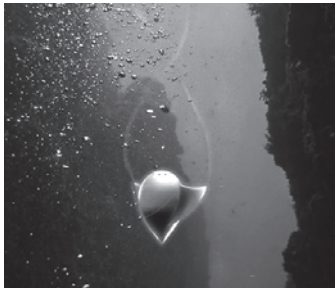
アバターを作成し、そのアバターとコミュニケーションが取れる新サービスも2024年春開始予定です。

深海葬は、樹木葬などのように、ご遺骨をお墓ではなく山や海などの自然に還す「自然葬」のひとつです。当社では、土地問題のない深海を安住の地にすることが故人の魂が静かに眠るのにふさわしい場所だと考えました。漁師の網すら届かない神秘的で静かな深海に眠り、やがて海に溶け、次の生物の礎になる。自然葬を希望する方にとって、理想的な場所が深海ではないでしょうか。そして、世界一の「深海大国」でもある日本で、日本一水深が深く、日本一の山「富士山」に見守られた風光明媚な駿河湾をその場

所を選びました。

やがて骨と共に海に還る

クリオールは、沖縄県産の「クチャ」という日本では沖縄県でしか取れない泥岩を使用しており、時間をかけてゆつくりと深海に溶けていきます。環境負荷がなく、ご遺骨と共にやがて海に還っていきます。またクリオネ型のデザインは、クリオネが「海の天使」と呼ばれていることから着想を得ました。静かに回転しながらゆつくりと深海に沈んでいきます。



2023年11月9日
PR TIMES
(モンディアル株式会社)

葬儀保険の 比較サイトを開設

解決する方法もご紹介しています。

葬儀保険ステーション

株式会社エレメント（神奈川県）は、葬儀保険比較サイト徹底比較「葬儀保険STATION」を開設しました。お金のかかる葬儀に不安を抱えている方の不安を拭き取るために作成した葬儀保険の比較サイトです。「残していく子供たちにお金の面で迷惑をかけたくない」「終活を考えている」と急な葬儀費用を準備する為に、葬儀保険で備えることができます。「わかりやすく」をモットーに、これから葬儀保険へ加入を考えている方に対して、「各葬儀保険のプランの概要」や「なぜ葬儀保険に加入する必要があるのか」を紹介。さらに、「葬儀にかかる費用を安く抑えるコツ」や「葬儀にかかる想定外のことへの対処法」など、保険以外の費用問題を

解決する方法もご紹介しています。

サイトの特徴

- ・保険の概要が分かりやすい
- ・最適なプランが見つけられる
- ・葬儀に関わるお役立ち情報が満載

2023年11月29日
PR TIMES
(株式会社エレメント)

ほっこりお墓タイム

お葬儀面白エピソード

⑫ 厳粛な空気が漂う葬儀の場、納棺の時、旅支度で最後に頭につける三角の布を葬儀場の方に「付けて下さい」と手渡された父。こういう場に慣れていないのと緊張もあり、何を思ったか神妙な顔で自分の頭につけ始めました。

⑬ 好奇心旺盛なうちの子は、読経を終えた僧侶様に向かって「お坊さん、どこから来たの？天国？」って聞いてました笑 ひいおじいちゃんを迎えに来た人だと思つたらしい。

⑭ 法事の席でついつい飲み過ぎてしまった父。それつが回らなくなった挙句、親類・知人が大勢いる前で服を脱ぎ始めてしまいました。：。普段は威厳のある父だっただけに、それ以降、親族の見る目が変わってしまいました。



供養品 & お墓 ニュースあれこれ…



「紫式部のお香」
大河ドラマ「光
る君へ」タイツ
ルロゴライセン
ス商品

江戸時代より360年以上続くお香、お線香のメーカー株式会社梅栄堂（大阪府）は、2024年大河ドラマ「光る君へ」の放送を機に企画デザインされた「紫式部のお香」を2023年12月20日より発売します。

貴族を中心とする国風文化が花開いた平安時代。優雅な貴族たちの生活の中に欠かせないもの、それは「香り」でした。

「紫式部のお香」は、大河ドラマ「光る君へ」に登場する歌人、紫式部の活躍した平安時代の風流な日常を彷彿とさせる香りをお楽しみいただけます。

当時、香りを日常生活で楽しむのは身分の高さや豊かさを示すことだったのでしょう。そして、香りと花の世界が結びつき、一輪挿しに挿した花を愛でる習慣が始まったのも平安時代からだと言われています。

江戸時代には「源氏物語」のストーリーにちなんだ香道の間香の遊びのひとつ「源氏香」が登場したほど、その時代背景は香りと切っても切れない世界でした。「紫式部のお香」の香りをお楽しみいただきながら、癒しの時を過ごしていただけます。パッケージのイラストは漫画家の高枝景水さんに描いていただきました。



株式会社梅栄堂
2023年12月18日

電報サービス
「でんぽつぽ」で
伝える弔電2種

時代やライフスタイルの変化とともに、故人を偲ぶ心や、先祖への感謝の気持ちの伝え方は多様化し、お仏壇を置かずに住環境に合わせて「手を合わせる場所」をつくる家庭が広がっています。仏花をドライフラワーにして小さなクリスタルガラスに入れた「フラワーポットー偲ぶ」の電報は、こうした手元供養のお供えにと、喪中はがきへのお礼やお悔みの気持ちを込めて送ることができる弔慰用電報です。また、同時発売のふくさとして利用できる「帛紗江戸紫」は、慶弔の両方で使える紫色のしぼり布に蓮を刺繍で描いた哀悼の気持ちを深く伝える電報です。

2023年12月4日
PRTIMES
(アルティウスリンク)

都会のと真ん中、
六本木に合同墓

東京都港区六本木に新たな合同墓「光明」が誕生します。この合同墓は、真宗大谷派のお寺、圓林寺の境内に位置し、お寺が永代にわたり供養を行います。六本木・麻布周辺は、かつて「麻布今井寺町」や「今井寺町元町」として知られ、多くのお寺が軒を連ねていました。その歴史的背景を持つ六本木には、今も多くのお寺が息づいています。多様な人々が集まるこのエリアに、新たな供養の場が加わります。

料金
【即合葬】18万円／
1霊、年間護持費（管理料）無料
【個別保管7年間＋その後合葬】30万円／1霊、年間護持費（管理料）有料

2023年11月16日
@Press
(株式会社アンカレッジ)

世界のお葬式



世界で最も愉快なお盆「死者の日」
「メキシコ」

毎年10月末から11月上旬に死者がガイコツとなつて訪ねてくるとされ、街全体が鮮やかなオレンジのマリーゴールドと、カラフルなガイコツのモチーフに彩られます。アステカ族の祭典とカトリックにおける諸聖人の日が融合し、死後も家族と会って話ができる「死者の日」。死者はガイコツになって今も別世界を生きているという考えがあり、日本のお盆にあたるこの日に魂

がこの世に戻ってくるとされています。

家やお店に「オフレンダ」と呼ばれる美しい祭壇を作り、お墓の掃除と飾り付けをして死者を迎える準備をします。そして死者の日の当日は、ガイコツのフェイスペイントをして街を練り歩き、夜通しお墓を囲んで死者とともに楽しく過ごすのです。ちなみに、メキシコでは「カトリーナ」と呼ばれる女性のガイコツが人気。死者の日には小さな女の子からおばあちゃんまで、カトリーナに扮した女性を見かけます。昔からメキシコで愛着を持たれているカトリーナは、有名な壁画や壁のイタズラ書き、かわいなお土産としても至る所で見かけるので、メキシコの街歩きの際には注目してください。



今日は 何の日？

2月(如月・February)

1日(1953年)

日本初のテレビ
本放送開始

NHK東京テレビ開局祝賀式のあと舞台中継などを放送。日本初のテレビ本放送となる。

2日(1976年)

『徹子の部屋』
の放送開始

黒柳徹子が司会を務めるトーク番組。40年を超える長寿番組。初回のゲストは森繁久彌。

3日(1958年)

若乃花が
横綱に昇進

若乃花幹士(第65代横綱・貴乃花の叔父)が第45代横綱に昇進。栃錦と共に栃若時代を築く

4日(2004年)

「Facebook」が
開設される。

アメリカでサービスを開始。日本語版は2008年に公開。2012年9月にはユーザー数が10億人を超えた。

5日(1920年)

私立大学が認可

「大学令」が施行され、慶應義塾大学と早稲田大学が初の私立大学として許可される。

6日(2011年)

大相撲
八百長問題

日本相撲協会は2011年春場所の中止を決定。本場所中止は65年ぶりで、不祥事を理由とした中止は初。

7日(1998年)

長野オリンピック
開催

20世紀最後の冬季オリンピック。冬季オリンピックとしては、最も南に位置する都市で開催された。

8日(1887年)

郵便マークが
決定される

通信省のマークが「丁」に決定。6日後、カタカナの「テ」を圖案化した「丁」に変更される。

9日(1948年)

初の国産ボー
ルペンが発売

「セーラー万年筆」が業界のトップを切ってボールペンを発売。ブームの導火線となる。

10日(1988年)

『ドラゴンクエストⅢ
そして伝説へ…』発売

ファミリーコンピュータ用のゲームソフト。量販店の前に数kmの行列ができるなどの社会現象を巻き起こした。

11日(1889年)

「大日本帝国憲法」
が公布

これを祝い考え出されたのが「万歳」の発声で、この日初めて「万歳三唱」が行われる。

12日(1968年)

世界初の
レトルトカレー発売

レトルトカレーの「ボンカレー」が大塚食品から発売。初めは阪神地区で限定販売であった。翌年5月から全国で販売。

13日(1875年)

「平民苗字必称
義務令」布告

すべての国民が姓を名乗ることを義務づけられる。

14日(1946年)

世界初の
コンピュータ公開

世界初のデジタル電子計算機(コンピュータ)がアメリカのペンシルバニア大学で公開される。

15日(2005年)

「YouTube」が
スタート

アメリカのカリフォルニア州で設立されたサービス。初めて動画が投稿されたのは同年4月23日である。

16日(1883年)

日本初の
天気図を作成

東京気象台が、ドイツ人気象学者の指導の下、7色刷りの日本初の天気図を作成する。

17日(1925年)

ツタンカーメン王
の墓が発見される

エジプトで発見。純金製の棺桶など3000点以上の品々が埋葬されており、「世紀の発見」と言われた。

18日(1950年)

第1回
雪まつり開会

「さっぽろ雪まつり」の第1回大会が開会。6つの石像を札幌市の中学・高校の生徒が制作。

19日(1907年)

日本初の自動車
運転規則制定

警視庁が日本初の自動車運転規則「自動車取締規則」を制定。スピード制限等が定められる。

20日(1997年)

大阪ドームが
完成

大阪市西区にある多目的のドーム球場兼複合レジャー施設。2006年から呼称が京セラドーム大阪になった。

21日(1872年)

「東京日日新聞」
が創刊

「毎日新聞」の前身。現存する日刊紙では最も古い歴史を誇る。世界初の新聞戸別配達を実施した。

22日(1989年)

「吉野ヶ里遺跡」が
確認される

佐賀県教育委員会の発掘調査で、吉野ヶ里に弥生時代の大集落が存在していた事が確認。

23日(1977年)

「きく2号」が
打ち上げ

宇宙開発事業団が種子島宇宙センターから打ち上げた技術試験衛星。日本初の静止衛星。

24日(1958年)

『月光仮面』の
放送開始

子供たちに圧倒的な支持を受けた正義の味方。平均視聴率は40%、最高で67.8%の記録を残す。

25日(1978年)

『未知との遭遇』が
日本で公開

『未知との遭遇』が公開され、SF映画ブームの火付け役に。同年に『スターウォーズ』も公開されている。

26日(1914年)

パナマ運河開通

太平洋と大西洋を連絡する運河。当初はフランス人技師が工事を進めていたが失脚。アメリカが引き継ぎ完成させた。

27日(2005年)

八甲田トンネル
が貫通

東北新幹線の戸十和田駅から新青森駅間にある新幹線専用かつ世界最長の陸上トンネルで、全長26kmを超える。

28日(1964年)

『オバケのQ太郎』
連載開始

週刊少年サンデーで『オバケのQ太郎』の連載が始まる。その後アニメ化され、ブームとなる。

